



岡本明久日本画展

見えるものとの対話

2025
7.10_木→7.27_日

■開館時間／9:00～16:30 (入館は16:15まで)
■休館日／7月14日(月)・22日(火)

市川市芳澤ガーデンギャラリー

千葉県市川市真間5-1-18 TEL 047-374-7687
<https://www.tekono.net/yoshizawa/>

□ JR市川駅から徒歩約16分、京成市川真間駅から徒歩約12分
□ お車でのご来館はご遠慮ください。



Japanese painting exhibition

■共催／(公財)市川市文化振興財団

■後援／市川市・学校法人 昭和学院

ごあいさつ

Okamoto Akihisa

岡本明久

日本画展

見えるものとの対話

市川市民として、発表の場が此処に在る事に感謝申し上げます。

大作150号を中心とする30点の作品を展示致します。私のこれまで精進して描いてきた道のりを皆様に見て頂くことで、良かったのか、悪かったのか見返す機会を持ちたいと思いました。

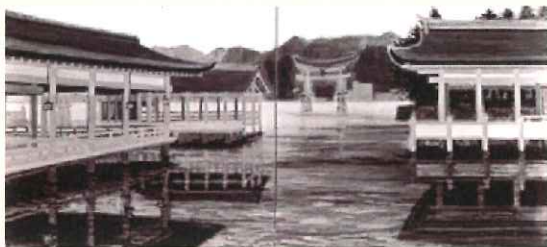
多くの皆様に見て頂く幸を感じております。

作品というものは実にはかなく、2019年秋、房総半島は3大台風の直撃を受け、富津市の父アトリエにありました父生涯の作品と小生40年余の全作品は、泥土と化しました。

しかし、描いた作品への想いと体験は今も残り、新たな活力となっております。

“無手勝流、自然体、精進こそが絵描きの生きざま”とは、生涯唯一の師、大山忠作先生のお言葉でありました。こうして振り返りますと、幸いこれまで良き師、良き友、良き知人に恵まれ、ありがたいご正正とご鞭撻のお陰さまをもちまして何とか現在に到っております。

皆様にはご多忙中の処、誠に恐縮とは存じますが、ご高覧ご高批を賜りますれば、幸甚この上なく存じます。



1999年「巖島」



2013年「待春五箇山」



日展 2001年「雲の道」



日展 2017年「時」

岡本明久画歴 Okamoto Akihisa

- | | | | |
|------|-------------------------|------|--------------------|
| 1951 | 富山県砺波市に生まれる | 2007 | 日展無鑑査『あゆみ』(F150号) |
| 1970 | 東京都立日本橋高校卒業 | | 中山忠彦をめぐる4人の新鋭作家 |
| 1974 | 東京藝術大学日本画科卒業 | | (市川市芳澤ガーデンギャラリー) |
| | 日春展初入選 大山忠作に師事 | 2008 | 日展特選『赤いドレス』(P150号) |
| | 阿佐ヶ谷美術学園受験部日本画講師 | 2009 | 日展無鑑査『音合わせ』(P150号) |
| 1976 | 日展初入選 | 2010 | 日展委嘱 日春展会員 |
| 1977 | 蒼炎展出品(以後10回)(松阪屋デパート画廊) | 2015 | 日展準会員 |
| 1978 | 塘会展出品(以後12回)(小田急百貨店画廊) | 2017 | 新日春展審査員(2022) |
| 1983 | 昭和学院秀英高等学校美術科講師 | 2018 | 個展(銀座 光画廊) |
| 1989 | 西域紀行日本画展(毎日新聞社画廊) | 2021 | ぬましんギャラリー(沼津市) |
| 1993 | 和泉会展(以後5回)(銀座 松島畫舫) | 2025 | 第59回日春展審査員 |
| 1999 | 父子展(砺波市美術館)以後グループ展出品 | 現在 | 市川市在住 |
| 2003 | 個展 (Ginza Tanaka Hall) | | 日展会員・日春展会員 |
| 2006 | 日展特選『旋律』(P150号) | | 市川美術会監事・千葉県美術会常任理事 |



2004年「臥龍之櫻」



- JR市川駅から徒歩約16分、京成市川駅駅から徒歩約12分
□ お車でのご来館はご遠慮ください。

■特別ゲスト講演 大山采子氏 7月15日(火) 14:00~15:00

■作家ギャラリートーク 7月18日(金)・7月24日(木) 14:00~15:00

■ギャラリーコンサート 山脇貴久恵 7月19日(土) 14:00~15:00
(生田流箏曲演奏家)

市川市芳澤ガーデンギャラリー

